

高槻にも住民提案の「たかつき市民カレッジ」(NPO 申請中)が来春誕生します。趣旨としては、“人生 100 年時代にふさわしい活力のある個人の生き方を提案し、地域の仲間と楽しみ、交流する場所を持ち、地域の活性化に貢献すること”を目的とした学校です。

人生 100 年時代と言われている現在、人生いかに豊かに生きていけるかは高齢者に課せられた課題であります。高槻をもっと知り、学び、そして体と心の健康を保つことは必要なことでもあります。いずれにせよ、地元が高齢者向けの学び場があることは、すばらしいことでしょう。



■仮屋蘭監事納沙布岬「高碓達之助顕彰碑」を訪ねる

令和元年 5 月 31 日午前 10 時～根室市歯舞漁業協同組合施設内にて、令和最初の「貝殻島区域昆布採取漁船出漁証明証伝達式」が多数の組合員や来賓が出席し開催されました。

開式冒頭、同漁協の昆布漁に多大な功績があった、故高碓達之助氏、故川端元治氏の肖像画に対し、日露交渉責任者より献花が行われました。

伝達式終了後、歯舞漁業協同組合関係者と、納沙布岬にある「高碓達之助顕彰碑」に献花を行いました。

この日の天候は比較的穏やかで、岬から貝殻島灯台、水晶島、国後島などが、はっきりと確認できましたが、翌日の出漁解禁日は、風が強く 6 月 2 日以降に延期となってしまいました。

高碓先生は、晩年この地を訪れた際、心眼により深い霧の向こうに北方領土を見たと言われ、苦悩する漁民を想い最期の決心をされたと伝えられています。それからの高碓先生は、正に命を懸けソ連と相対し、昆布漁協定締結を成し遂げました。(仮屋蘭記)



高碓達之助先生 顕彰碑

故 高碓 達之助先生への献花



高槻名誉市民を語り継ぐ会 参列 (仮屋蘭 理事・西田氏・平野氏)



■インドネシア アジア・アフリカ会議博物館を訪ねる

我が会の仮屋蘭監事が 6 月 19 日からバンドゥンのアジア・アフリカ会議博物館と周恩来・高碓密会「サボイホーマンホテル」のロビーを訪ねられました。

ここは昭和 30 年(1955 年)4 月、「第一回アジア・アフリカ会議」が開催された場所です。そして 29 の国が国際平和への決意を一つにしたことを、形に残し忘れないための施設です。

高碓達之助は日本政府代表として出席し、ネルー、ナセルや周恩来などと親交を深め、政治に興味を持ち、外交に興味を持つようになり、後の政治活動に貢献することになったのはこの会議からであったと言われています。

今度の訪問で、バンドゥンでは高碓先生が日本を代表して出席された証を確認し、会議場では参加国の旗の真ん中に日本国旗が並んでいたことが大変印象的であったこと、また、「サボイホーマンホテル」のロビーでは、密会当時のラウンジがそのまま残されていた事から、当時の様子をいくらかは回想することができた、とのことです。



『村上三島記念碑を訪ねて第三弾』

「誠」! …高槻市阿武野中学校(高槻市氷室 5 丁目)正門前花壇に設置の村上三島揮毫の書碑(1974 年 4 月創立記念、阿武野中学 PTA 実行委員会寄贈)がある。

阿武野中学は高槻市 12 番目の市立中学として

1974 年第二中学校より分離独立した。

翁 62 歳! 文化勲章受賞までこれより 24 年も先ではあるが、(社)日本書道院理事長就任一年後の書道家として一番油ののりきった頃の自信の一作であろう。(宮本)

